

C O N T E N T S

編集方針	2
グループ理念／行動指針	3
トップメッセージ	4
ステークホルダーダイアログ	7

特集

【社会】 地域再発見プロジェクト	12
【安全】 次代へのメッセージ	16
【環境】 生物多様性と環境技術開発	20

環境

基本的な考え方と目標	23
グループ全体の環境負荷	24
環境目標と実績	25
地球温暖化防止への取り組み	26
資源循環の取り組み	33
化学物質管理	36
騒音低減に関する基本的な考え方	38
沿線環境の向上	39
環境マネジメント体制	40
社内環境教育の実施	41
次代を担う子供たちへの環境教育	43
環境コミュニケーション	44
各機関における取り組み	45
グループ会社の取り組み	47
環境会計と経営指標	49

安全

究極の安全をめざして	51
安全文化の創造	54
安全設備の整備	57
羽越本線列車事故を受けた対策	62
安全研究開発	64

社会

お客さまとのかかわり	66
社会とのかかわり	74
社員とのかかわり	78
CSR マネジメント	82
コンプライアンス	84
第三者保証報告(web版)	87
経営企画部長まとめ	88
社会環境活動のあゆみ／表彰履歴	89
会社概要／グループ会社一覧	90
編集後記	91

より詳細な情報は当社ホームページをご覧ください。
<http://www.jreast.co.jp/eco/>

編集方針

本報告書は、JR東日本グループにおけるさまざまな取り組みについて、正確かつ分かりやすくご紹介することを目的として発行しています。

本書は、「特集編」と「詳細編」の2部構成となっており、特集編については、「環境」「安全」「社会」の3側面から、特に読者の方にお伝えしたい内容を掲載させていただきました。

また今回の報告書では、「地域活性化」をキーワードとして、弊社の経営にステークホルダーの声を反映すべく、有識者をお招きした「ステークホルダーダイアログ」を実施し、その内容も掲載させていただいております。

情報発信の方法につきましては、昨年度に引き続き特に進捗のあった情報などを冊子へ掲載することとし、経年的な情報などについては、当社のHPへ記載させていただいております。

参照した ガイドライン

環境報告ガイドライン（2007年版）
〔環境省〕
環境会計ガイドライン（2005年版）
〔環境省〕

対象期間

2009年4月～2010年3月（実績データに関しては、2009年度を対象期間としましたが、活動内容については一部それ以前のもの、および本書発行直近のものも含んでいます）

対象範囲

JR東日本とJR東日本グループ73社